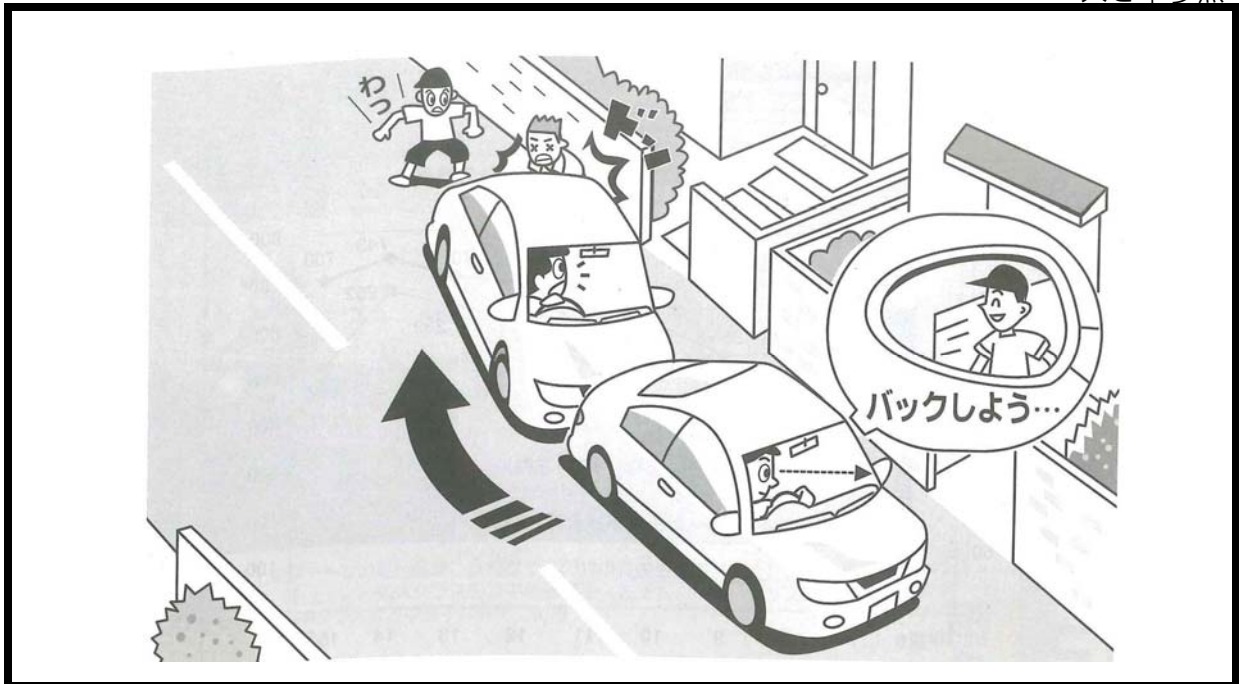


■事故の概況

人と車参照



事故類型：人対車両

発生日時：夕暮れ時

当事者A：普通乗用車 男性

当事者B：歩行者 小学生 男性

■ 事故の概要

Aは子供の送迎のために、道路左端に一端車両を止めましたが、後続車のためにもう少し左に寄せようと思い直しました。A車前方左の民家から出てくる二人の子供（B、C）を発見しましたが、大して気に留めていませんでした。

車両を更に左に寄せようと、安全確認の為に右のバックミラーを見ると接近してくる車両があったので、通過するのを待ち、次に左のバックミラーで後方を確認すると、Cの姿が見えました。Bの姿は見えませんでした。Bの姿は見えませんが、「近所の民家にでも入ったのだろう」と判断し、車を後退させました。すると、A車の左側後方で靴紐を結ぼうとしゃがみ込んでいたBに衝突しました。

■ 事故から学ぶ

Aが運転していた車は、当日納車されたばかりの新車で、バックミラーを適切な角度に調整していませんでした。的確に調整していれば事故を防ぐことができたかもしれません。

突然の状況の変化（二人見えていた子供が急に一人しか見えなくなった）があった場合は、車を降りて自分の目で状況を確認するくらいの慎重な態度が事故を回避することにつながります。

子供の行動は理屈では説明できない場合がありますので、このような事故を防ぐには、どのような場所にはどのような危険があるのかをあらかじめ人と予想しておくことが大切です。